

創立74周年
令和6年度 11月号

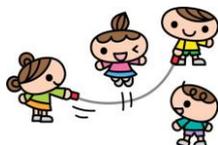


咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



学年を越えた交流

園長 北村 恵

やっと少し涼しくなってきたと思えるようになった途端、秋を通り越して冬の気配さえ感じられるようになっていきます。年々、日本らしい秋が短くなっている気がして寂しいです。

先月の運動会は晴天に恵まれましたが、真夏のような暑さの日でした。そんな日差しの中で応援や準備・片付けのお手伝いをしてくださった保護者の皆様は、とても大変だったことと思います。本当にありがとうございました。アンケートでは「ぞう組の応援合戦は大きな声が出ていて動きも揃い、クラスとしてのまとまりを感じた」「旗の表現が素敵だった」「ぱんだ組のダンスは、隊形移動もあり、フープを使って友達ともつながっていくところが素敵だった」「うさぎ組は人数が少ない中、にこにこしながら伸び伸びと踊っていて可愛かった」「保護者も小学生もみんなが楽しめる運動会だった」等々、嬉しいコメントをたくさんいただきました。反対に残念だった点として「観客席が暑く、休憩できる場所が欲しかった」「来賓席の後ろからでは子供たちの姿を十分に見ることができなかった」「ソーラン節で学年の交代がなく、年長児の姿が見られず残念だった」等のご意見もいただきました。久しぶりに多くのご来賓においでいただいたことや、子供たちに無理のないように考えたことが、予想していたよりも見えづらい形になってしまい、申し訳なく思っています。いただいたご意見を参考に反省点を生かし、来年度は子供たちの頑張った姿が十分に伝わる運動会になるように改善していきたいと思えます。

運動会后、それまでの取り組みの中で他の学年の姿もよく見ていた子供たちは、自分たちの遊びの中に、他の学年の表現や競技を取り入れていました。うさぎ組が、ぱんだ組のフープのダンスやぞう組の旗のダンスをほぼ完璧に再現しているのには驚かされました。

ぱんだ組は、ぞう組のリレーにチャレンジしたくなり、校庭で一緒に入れてもらい、走り方やバトンの渡し方を教えてもらいました。その後、園庭で折り返しリレーを繰り返しているとうさぎ組も「入れて」とやってきて一緒にリレーを楽しんでいました。あこがれの年長児がかっこいい姿を見せてくれたことは、他の学年にとって大きな刺激となったようです。

先日、ぞう組のレストランが開店しました。レストランには、本物らしく美味しそうなものが並んでいるので、うさぎ組やぱんだ組に大人気です。連日レストランはお客さんが途切れず、予約の人が出るぐらい大忙しでした。このような、学年を超えた日々の交流の中で、子供たちはお互いにたくさんのことを学んでいます。ぞう組にとっては、自分より小さい友達にどのように接したり話したりすれば伝わるのか、何を用意すればお客さんが困らないか等を考えるきっかけになります。ぱんだ組、うさぎ組にとっては、ぞう組の立ち居振る舞いやお店の商品、お店の作り方などすべてが学びです。学級の人数が少なくなっている今だからこそ、このような他学年との繋がりを大切にして、子供たちの学びを保障していきたいと思えます。